

平成 26年 3月 1日

し ょ う よ う

# 松陽

太陽のように  
まぶしい笑顔で  
元気一杯の松陽寮！

## 第100号

<発行>

広島県立障害者療育支援センター 松陽寮  
発行責任者 秀島 和則  
739-0133 東広島市八本松町米満198-1  
TEL 082-428-6671  
FAX 082-428-6670  
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>  
E-mail [syouyou@ryoiku-hiroshima.gr.jp](mailto:syouyou@ryoiku-hiroshima.gr.jp)



今年の願いを絵馬に  
書きました



今年の願い事 第2支援課

## 親子旅行

第1支援課 藤原 博

9月24日（火）晴天のもと第1支援課親子旅行が、利用者34名、保護者18世帯26名、職員14名の総勢74名で「世羅幸水園」に行き、梨狩りを楽しみました。「もう少し手を伸ばして、ホラ、梨はそこ!」「あと少し、手が届いたかな?」「やっと獲れた」自分の手で獲ったものは、格別においしい。梨汁はとても糖度が高く、手のみならず、口の周りまでベトベトになってしまいました。興奮とともに初体験の梨狩りは終わりました。次は、世羅ワイナリーで昼食だ。梨を食べてからそれほど時間が経っていないのに、みんなご馳走を残すことなく食べちゃいました。それでも食べたりないのか、食後は園内を散策しながら、ソフトクリームやお菓子をかっては食べていました。

「そうだ!お土産を買うのを忘れてた」慌てて小走りに売店に駆け込む人もいました。楽しかった親子旅行もあっという間に時が過ぎ、帰路のバスの中では、話もそこそこに、眠ってしまい、目が開くと、松陽寮に着いていました。また、旅行に行きたいな!!



## 秋の社会見学

9月のとある一日、地域支援課恒例の秋の社会見学にみなさん参加されました。コースその1は「竹原の街並み散策」。コースその2は「府中イオンモールショッピング」。コースその3は「マツダスタジアム野球観戦」でした。利用者さんに希望のコースを選んでいただき家族の参加もお願いして思い思いの一日を過ごしてもらいました。普段は少食の方もこの日はステーキを美味しくたくさん食べられました。



広いショッピングセンター内を何周も回って購入する品を吟味されていきました。カープの7回攻撃前にジェット風船を膨らませて今か今かと待ちきれない表情をされていました。みなさんと楽しい時間が共有できました。

社会見学はずっと続けていきたい行事の1つです。



## ケアホーム安芸グランドホテル1泊旅行

地域支援課 平井 徹志

「お母ちゃん、来るん？」「お兄さんから返事あった？お姉さんと来るよね？」旅行が近づくと毎日が楽しみでしかたがない。

当日（10/25～1泊）出発時は、利用者7名、世話人3名、職員2名で貸切バスに乗り込み、広島駅では、堺市からの2名、広島市から保護者2名、世話人1名が合流し、増々車内がにぎやかになりました。

広島城を車窓見物、「やまだ屋」への立ち寄りでは、現地係員の工場案内、ビデオを見ながら面白、おかしく話を聞きました。

いよいよホテルにチェックイン。ホテルで合流の保護者2名で全員集合（19名）課長・保護者のあいさつを皮切りに、食前酒の乾杯で夕食会開始。お腹が落ち着いたらカラオケ、利用者の希望曲からはじまり、はじめは遠慮しておられた保護者、世話人も慣れた手付きでマイクを持って上手いのなんの。

翌日は広島県立美術館、縮景園見学。昼食は、むすびの「むさし」でお腹いっぱい、満足。

遠方からの保護者や世話人とも広島駅で「また、行きましょう。」のあいさつで帰路となりました。



## 『松陽祭2013開催』

11月9日『えがお広がるとき、今でしょ！』をテーマに松陽祭が開催されました。地域の来賓の方々をお迎えした午前の部では、踊りクラブのみなさんが『きよしのズンドコ節』と『おめでた音頭』を披露しました。楽しそうに踊る姿はみんなの手拍子と笑顔を誘っていました。

続くイベントには昨年に続き『東広島市立磯松中学校吹奏楽部』の皆さんが出演してくださいました。『あまちゃんのテーマ』に「知ってる！」と言わんばかりに「じゃじゃじゃ。」と声をあげ『CMメドレー』では一緒にハンカチを振りました。迫力ある演奏と可愛い中学生のダンス、そして指揮の先生が突然マイクを持って歌声を披露されるなど笑顔あり、驚きありのひとときでした。

午後はバザーが開店。近隣施設からは青空パン屋さん・ウイングのクッキー・野呂山学園のお花の苗を出店していただきました。そして日清医療食品からは手打ちそば・おにぎり・唐揚げ・フライドポテト・焼きそばが出店されました。自治会からもジュースの販売が行われました。「何を食べようか？」と迷った人も「ぜ～んぶたべたよ。」と言う人もいたようですね。この日は暖かく戸外のベンチで食事をされている姿も見られました。

各クラブの展示やお茶席・おはようカフェ・毎日の活動や余暇活動で作った各課の作品販売も沢山の人がにぎわっていました。今年はテーマキャラクターをあしらった作品もありました。喫茶や買物・・・楽しんでもらえたでしょうか？！

地域の方々そしてボランティアの方々に支えられ、天候にも恵まれ今年も無事松陽祭を開催することができました。

『また来年も』を楽しみに作品づくりや活動に取り組んでいきたいと思っております。

皆さんありがとうございました。



## 餅つき（第4支援課）

12月10日、訓練棟で、餅つきが開催されました。第1支援課から順に、第4、第3、第2、地域支援課の順に訓練棟へ移動しました。作業棟で蒸し上がったもち米をうすに移し利用者の「よいしょ」「ぺったん」というかけ声に合わせて餅をつき、訓練棟には、杵をつく音が響き渡りました。つき上がった餅は、



台の上で民生委員さんに切り分けられ、利用者の手で丸められた個性豊かな形の餅を各課に持って帰られました。

利用者の歓声と笑顔がたくさんみられたひと時でした。

民生委員さんのご協力のおかげで冬の風物詩である餅つきを終えることができました。

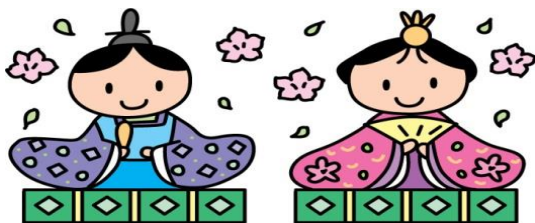
お餅は昼食時に、お雑煮にして各課で工夫して食べられ、楽しい一日を過ごされました。

## クリスマス会（第2支援課）

私たち第2支援課の利用者さんは虚弱・高齢・車椅子利用者の方が多く、そのクリスマス会が果たして楽しく行えるだろうかと心配しました。

しかしながら、今年第2支援課に入った若い女子職員が、いとも簡単に、紙芝居、歌、弾き語りなど、第2支援課の利用者さんを「楽しいクリスマス会の渦」に巻きこみ、利用者総数35名は短い時間でしたが、思い切り楽しむことができ、杞憂はみごとにはずれてしまいました。

そして、キャンドルサービス、サンタさんからの贈り物の後、おいしい食事をいただき、みなさんはクリスマス会を本当に満喫していらっしゃいました。



### 行事予定

3月 支援実務研修  
4月 お花見会



### 編集後記

今年度の後半の行事を紹介させていただきました。利用者みなさんも季節の移り変わりを感じながら楽しんでおられました。

あと1ヵ月足らずで今年度も終わりです。

次年度も利用者みなさんに楽しんでいただける行事にしていきたいと思います。